

警子ちゃん(DN-1500GL、DN-1510GL、DN-1500GX、DN-1000RN、DN-1000S)とSystemwalkerの連携 ~ イベント発生時にランプやブザーをONにする ~

Systemwalker にてイベント(トラップ)が発生したときに実行する自動アクションコマンドの設定方法について 説明します。

[警子ちゃんの設定]

各機設定ツール内「コマンドアクセス設定」ページにて「ユーザ名:」に SYSTEM を登録しておきます。

警子ちゃん 4GX、4G、4G・	+の場合		警子ちゃん および警子ちゃんミニの場合
	hp 🔎 –	図 C × ■ DN-1500GL 設定ツール ×	▲ DN1000普子5+6II設定ツール - Microsoft Internet Explorer
ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻) お気に入り	D(A) ツール(I) ヘルプ(H)		
DN-1500GLシリーズWEB設定画面	詳細設定 > コマンドアクセス設定		
警子 ちゃん 4G	コマンドアクセス設定		= = = = = = = = = = = = = = = = = = = =
	RSHアクセスユーザ名		本本誌定 コマンドアクセス設定 ・豊裕定意識外 コマンドアクセス設定 ・豊裕定意識外 エマンドアクセス設定 ・モージ設定(管保入力) ・モージ設定(管保入力) ・アクシック・数(意識) ユーザ名:1 [oot
基本設定	ユーザ名1	root	(ネットワーク) ・アクション一覧/該定 (満知 Athen Ath
▶ 本体情報	ユーザ名2	Administrator	マーザ名: 3 (system アラーム解除 フーザ名: 4 bin
 LAN設定 時刻の字 	ユーザ名3	SYSTEM	ンステム設定 ユーザ名:5 SYSTEM
 ・ 管理ユーザ設定 	ユーザ名4	bi	・電子メール設定
詳細設定	ユーザ名5	riot	・ メッセージ設定 コマンドバスワー 有効・ 1 ・ SNMPトラップ設定 現在のバスワード: ・ ・ ・
 電子メール設定 		1	・コマンドアクセス設定 新しいパスワード:
 SNMP設定 コマンドアクヤス設定 	RSH コマンドパスワード	/	新しいバスワード再入力: 「 ログ
 ・ 音声ファイル登録 ・ メール内容/実行コマンド設定 	コマンドバスワード	□有効	・イベントログ ・イベントログ ・ア ・
	4		
ユーザ名3	SYSTEM		ユーザ名: 5 SYSTEM

- ◆ 各機警子ちゃんを動作させる為に、「rsh」コマンドを利用します。
- ◆ Windows 用リモートシェル 「ISA Remoteshell for Windows "IRSH"」(別売)をご用意いただき、ご使用いただくことをお薦めします。
 - ※ irsh はコマンド (MS-DOS) プロンプトにてお使いください。
 - ※ irsh は任意のフォルダに置いていただくことによって利用可能です。
 - ▶ 本説明内では、[C:¥cmd]配下での説明をしております。
 - ※ Windows9x 環境のバッチファイルの中でご使用になる場合は、start/wオプションを付加して irsh が完了するまで次のプロセスに移らないようにしてください。

Windows 環境での Systemwalker CentricManager v13.6.0の設定

(1)「Systemwalker コンソール」から監視対象としたい SNMP トラップを右クリックしてメニューを表示し、「アクション定義の追加(監視対象に追加)を選択します。

ning]	[vmsvc:autoUpgrade] vmx returned Auto	AP:MpCNapp1: ERROR: 106: SNMPトラップを通知しました。
⊧ - s	YSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥SNMP¥I	enterprise:enterprises.1333 specific:10
is al	イベントの詳細(A)	timestamp:578910 varbind:(ccitt.0 [4 6 0] (null)))
ning] ⊧− S	イベントを未対処にする(<u>V</u>) イベントの状態変更(<u>U</u>)…	
is al	メールで送信(<u>M</u>)…	
⊧ - s	CSV形式で保存(0)	
ning]	クリップボードヘコピー(Y)	
⊧ - s	印刷(<u>P</u>)	
ップを	指定イベントで絞り込み(工)	
	イベントの発生元ヘジャンプ(」)	
	アクション定義の追加(監視対象から除外)(C)	
	アクション定義の追加(監視対象に追加)(B)	
÷	オペア:躍却(の)	📕 🛔 🍈 🔊 📥 🔤

(2)「イベント定義/アクション定義」のウインドウが起動したら、「詳細設定」ボタンをクリックします。

イベント定義/アクション定義[1:WIN-CIBS4A0F62N:Administrator]	×
イベントの特定(メッセージ監視アケション)通知/実行アケション)	
 ハンビージを特定する条件を設定します ホスト名の特定(S) ○特定しない ○示スト名 ○知道 ○注の他システム ○全ての他システム メッセージテキストの特定(I) エラー種別、ラベル、テキストに分割してメッセージを特定する場合は詳細設定で変更してくださ ○特定しない 	5(10
ドルモン/avi 「106: SNMPトラップを通知しました。¥(TRAP agent:192¥.168¥.1) 「106: SNMPトラップを通知しました。¥(TRAP agent:192¥.168¥.1)	4.237 community 💌
	詳細設定(<u>D</u>)
OK キャンセル 適用()	Э <u>лл7(H)</u>

メッセージを特定する条件を設定します - ホスト名の特定(S) C 特定しない	す 監視イベント種別の特定(0)	ー -メッセージタイブの特定(Y) - で特定しない の 振荡要求 パッセージ
・ ホスト名 へ2008 こ 自システム こ 全ての他システム		 ご言葉(い)と ジ ご 高輝度メッセージ ご 一般メッセージ () 一般メッセージ
- メッセージの特定(<u>A</u>) 「 エラー種別 ラベル テキフトに	 ○ 特定しない ○ 通報番号 ○ 通報番号 ○ 通報番号 	 ○特定しない ○重要度 ● 最重要
エラー種別の特定(E) ○ 特定しない ○ エラー種別 エラー ○ 種別なし	- ラベルの特定(L) - ラベルの特定(L) - 特定しない で ラベル名 「AP:MpCNapp - ラベルなし	
- メッセージテキストの特定(I) - 特定しない ・ ・ メッセージテキスト ^{^106: SI}	NMPトラップを通知しました。¥(TRAP agent19.	2¥.168¥.1¥.237 communi 💌

(3)「イベント定義(詳細)」のウインドウが起動したら、「メッセージテキスト」を編集します。

実際にイベントとして発生した SNMP トラップにアクションを定義しようとした場合、そのイベントのユニ ークな情報が以下のように含まれています。

■ 無題 - メモ帳	
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルブ(H)	
^106: SNMPトラップを通知しました. ¥(TRAP agent:192¥.168¥.1¥.237 community:public generic:6 enterprise:enterprises¥.1333 specific timestamp:578910 varbind:¥(ccitt¥.0 ¥[4 6 0¥] ¥(null¥)¥)¥)	:10

今回の例では、「SNMP トラップ送信元の IP アドレス」「コミュニティ名」「Generic」「Enterprise-ID」 「Specific」を監視対象としたいので、以下のように編集します。

ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルブ(H)	
¥(TRAP agent:192¥.168¥.1¥.237 community:public generic:6 enterprise:enterprises¥.1333 specific:10	×

イベント定義(詳細)[1:WIN-CIBS4A0F62N:A	Administrator]	×
xyセージを特定する条件を設定します ホスト名の特定(S) ○ 特定しない ○ ホスト名 X200s ○ 自システム ○ 全ての他システム	監視イベント種別の特定(Q) ・特定しない ・監視イベント種別 ・ ・ ・ 種別なし	- メッセージタイプの特定(Y)- ○ 特定しない ○ 返答要求メッセージ ○ 高輝度メッセージ ○ 一般メッセージ
「メッセージの特定(<u>A</u>)	通報番号の特定(N) ・特定しない ・通報番号 ・ 日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	 重要度の特定(D) ● 特定しない ● 重要度 最重要
 □ エラー種別、ラベル、テキストに分割せずI □ エラー種別の特定(E) ○ 特定しない ○ エラー種別 □ エラー ■ □ ○ 種別なし 	こメッセージを特定する(V) - ラベルの特定(L) - 特定しない ・ ラベル名 「 [^] AP:MpCNapp - ラベルなし	
メッセージテキストの特定(1) C 特定しない ④ メッセージテキスト ¥(TRAP agent:19)	2¥.168¥.1¥.237 community:public ger イベントログ笑に出力される形式で入	eric:6 enterprise:enterpr 💌
	セージテキストを自動で設定します)	

(4)」「メッセージテキスト」欄を編集したら「OK」ボタンをクリックします。

(5) 再び「イベント定義/アクション定義」のウインドウが表示されたら、「通知/実行アクション」タブを クリックします。

	IST I WIN CIPSA	AUF OZN: Administrator		
ベントの特定 メッセージ	パ監視アクション 通	知/実行アクション		
ッセーンを特定9の条件 ホスト名の特定(<u>S</u>)	を設定します	7		
○ 特定しない				
◎ ホスト名 ^{×4}	:00s 🗾			
○ 目ソステム ○ 今天の(h2:コニ)				
メッセージテキストの特?	₩ ₩			
エラー種別、ラベル、ラ	トリン デキストに分割してメッ	ッセージを特定する場合は詳約	細設定で変更してくださ	() <u>.</u>
1 7 HENRY 7. 746	うろれての言いていう	ノビーノ ビバルビラ ロイの ロ (のロキ)	Maxie Care O C V/CC	v 'o
 6 特定しない 				
C 特定しない C 物セージ	¥(TRAP agent	t:192¥.168¥.1¥.237 commun	ity:public generic:6 en	terprise:enterpr 💌
 ○ 特定しない ● メッセージ 	¥(TRAP agent	t:192¥.168¥.1¥.237 commun	ity:public generic:6 en	terprise:enterpr_
 ○ 特定しない ● メッセージ 	¥(TRAP agent	t:192¥.168¥.1¥.237 commun	ity:public ∉eneric:6 en	terprise:enterpr
 ○ 特定しない ● カッセージ 	¥(TRAP agent	t:192¥.168¥.1¥.237 commun	ity:public generic:6 en	terprise:enterpr文
 ○ 特定しない ● メッセージ 	¥(TRAP agent	t:192¥.168¥.1¥.237 commun	ity:public generic:6 en	terprise:enterpr <u>,</u>
 ○ 特定しない ● メッセージ 	¥(TRAP agent	t:192¥.168¥.1¥.237 commun	ity:public generic:8 en	terprise:enterpr <u>、</u>
 ○特定しない ● 外ロージ 	¥(TRAP agent	t:192¥.168¥.1¥.237 commun	ity:public generic:6 en	terprise:enterpr文
 ○ 特定しない ● メッセージ 	¥(TRAP agent	t:192¥.168¥.1¥.237 commun	ity:public generic:8 en	terprise:enterpr <u>,</u>
 ○ 特定しない ● メッセージ 	¥(TRAP agent	t: 192¥.168¥.1¥.237 commun	ity:public generic:6 en	terprise:enterpr <u>,</u>
 ● 特定しない ● メッセージ 	¥(TRAP agent	t:192¥.168¥.1¥.237 commun	ity:public generic:8 en	terprise:enterpr文
 ○ 特定しない ● メッセージ 	¥(TRAP agent	t: 192¥.168¥.1¥.237 commun	ity:public generic:6 en	terprise:enterpr <u></u> 、
 C 特定しない C 特定しない C メッセージ 	¥(TRAP agent	t: 192¥.168¥.1¥.237 commun	ity:public generic:8 en	terprise:enterpr <u></u> 【詳細設定(D)

(6)「イベント定義/アクション定義」のウインドウが起動したら、「詳細設定」のボタンをクリックします。

イベント定義/アクション定義[1:WIN-CIBS4A0F62N:Administrator]	×
イベントの特定 メッセージ監視アクション 通知/実行アクション	
□ メールによる通知を行う(M)	- I
דעא:	
ビジンクを含む)	
通知先:	
,	
詳細設定(D)	n
	-
OK キャンセル 適用(A)	<u>(H)</u>

(7)「アクション定義(詳細)」のウインドウが起動したら、「アプリケーション起動」タブをクリックして、 各項目の設定を行います。

アクション定義(詳細)[1:WIN-CIBS4A0F62N:Administrator]	×
ボップアップ イベントログ出力 リモートコマンド SNMPトラップ メール アプリケーション起動 音声通知 ショートメール	
 ▼プリケーションを起動する(P) 定義詳細(F) 実行方法の指定(X) ● 上位優先 ● 常時実行 	
アプリケーション詳細(<u>S</u>) 起動ファイル:	
c:¥windows¥system32¥cmd.exe	
/C c:¥cmd¥irsh 192.168.1.1 acop 10010000	
実行時のディレクトリ: c:¥cmd	
記動時の扱い(R) ○ 普通に表示 〇 非表示 〇 アイコン化	
OK きャンセル 適用(<u>A</u>) ヘルプ(<u>H</u>)	

「アプリケーションを起動する」:チェックを入れます。

「起動ファイル」: cmd. exe をフルパス指定します。

「パラメタ」: " /C (警子ちゃんを制御するコマンド)"という形式で記述します。 ※本例では、警子ちゃんの IP アドレスを「192.168.1.1」とします。

「実行時のディレクトリ」:任意の場所を指定します。

上記の指定が完了したら「OK」ボタンをクリックします。

(8) 再び「イベント定義/アクション定義」のウインドウが表示されたら、設定が反映されていることを確認します。設定が正しければ「OK」ボタンをクリックして、ウインドウを閉じます。

イベノト定義/アウンヨノ定義[I:WIN-GIBS+AUF 02N:Administrator]	×
イベントの特定 メッセージ監視アクション 通知/実行アクション	
□ メールによる通知を行う(M)	
アドレス:	
起動ファイル: [c#windows#system32#cmd.exe /C c#cmd#irsh 192.168.1.1 acc.▼ (パラメタを含む)	
通知先:	
(詳新語文定(D))	
 OK キャンセル 適用(A) へ	 ルプ(H)

(9)「イベント監視の条件定義」のウインドウで「ファイル」-「定義の保存」をクリックして、設定を保存します。

備イベント監視の条件演	主義 [WIN-CIBS4A0F62N][1:WIN-CI	BS4A0F62N:Ad	lministrator]			
ファイル(F) 編集(E) 5	環境設定(S) イベント(N) アクション(A)	表示(V) ツール((T) ヘルプ(H)			
定義の保存(S) Otrl+S	- 8			-		
終了(X)	特定する条件	アクション条件	メッセージ監視	メール	アプリケーション起動	音
1 ここからトの定義か	テン システム:###Systemwalker Tem					
2 ここから上の定義か	『テン システム:###Systemwalker Tem		1 N			
3	システム: 192¥.168¥.1¥.160 ラベ		送信 .ログ		Summer 🔘 summer	
4	システムー ラベル:SY: エラー種別!*		送信 ログ			
5	システムーラベル:AP:MpWk Tラー	1	送信「ログ			

(10) 実際に SNMP トラップのイベントを発生させて、警子ちゃんが動作することを確認してください。

以上